

大雪山

1 概況

上空からの観測の結果、火山活動に異常は認められませんでした。

2 上空からの観測結果

7 月 15 日に北海道開発局の協力を得て上空からの観測を実施しました。

【旭岳地獄谷爆裂火口】

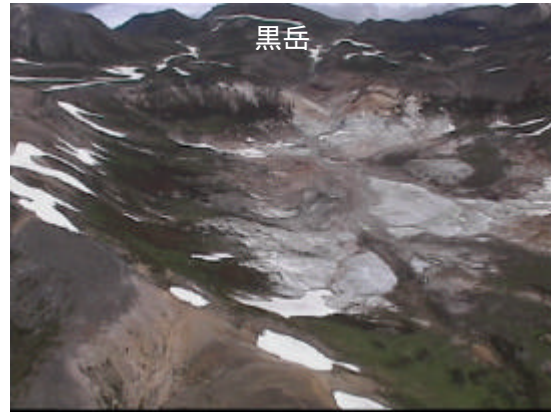
目視による観察では、爆裂火口の火口底に点在する数カ所の噴気孔から白色の噴気が認められました。中にはやや勢いの強い噴気が高さ 50m 程度まで上がっている噴気孔もありました。噴気活動はこれまで知られている状況と比べて大きな変化はありませんでした。

【御鉢平カルデラ】

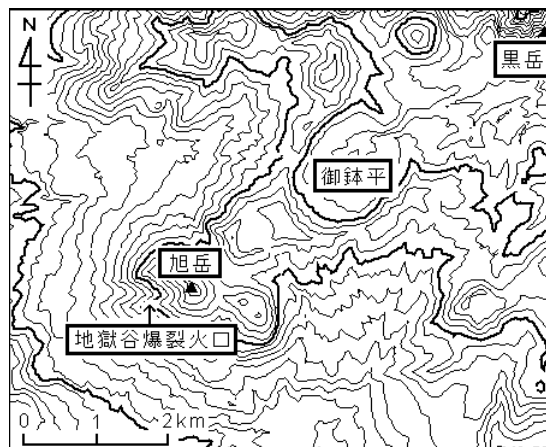
目視による観察では、カルデラ中央部にごく弱い噴気が認められました。



地獄谷爆裂火口 (西側上空から撮影)



御鉢平カルデラ (南西側上空から撮影)



大雪山 周辺図

参 考

大雪山は約 10 個の成層火山・溶岩円頂丘からなる火山群です。中央部には御鉢平カルデラ（直径約 2km）があり、噴気孔や温泉が存在しています。1958 年と 1961 年にはカルデラ内で火山ガスによる死亡事故がありました。火山群の南西方に位置する旭岳（2,290m）は最も新しく噴出した火山で、その西側斜面には西に開いた地獄谷爆裂火口があり、やや活発な噴気活動が続いています。最新の噴火は 500～600 年前と推定されています。